

東日本 **APM** ニュース

ASSOCIATION OF PLASTICS MOLDERS, EAST JAPAN

第477号 2014. 1 / 5

一般社団法人 東日本プラスチック製品工業協会
 東京都中央区築地3-12-5 築地小山ビル TEL 03(3541)4321
 URL:http://www.ejp.or.jp FAX 03(3541)4324
 発行人 高橋 廣

目次	次
2014年 年頭挨拶 1	ITS (高度交通システム) (四季) 5
連合会会長 新年ご挨拶 2	年賀広告 6
干支の話題 3	

【2014年 年頭挨拶】

～ネット社会をどのように経営に取り入れていくか～



一般社団法人 東日本プラスチック製品工業協会
 会長 大野 泰 昭

新年あけましておめでとうございます。

皆様には謹んで新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、会員の皆様はじめ関係官庁、業界団体さらに多くの皆様には格別なるご支援を賜り誠にありがとうございました。本年もまた宜しくお願ひ申し上げます。

関東経済産業局・製造産業課長 青木宏様はじめ課員の皆様には常日頃より、あたたかいご支援をいただき心よりお礼申し上げます。

当工業会の重点事業であります能力開発・技術向上の推進におきましては、技能検定委員会の須崎委員長並びに委員の皆様のご努力もあって、本年も多くのプラスチック成形1級並びに2級技能士が誕生しました。

東日本プラスチック製品工業協同組合（滝口理事長）の事業活動におきましても、今年度既に、会員企業の皆様へ様々な物品等の斡旋を実施していただきました。

また、昨年は大井副会長の下「創立50周年記念事業委員会」を設置いたしまして、会員皆様方のご協力並びに諸先輩方より戴いたパワーのおかげで、去る11月28日に50周年記念式典・祝賀会を無事に終えることができました。心より御礼申し上げます。

さてアベノミクスの始動から1年たちました。日本経済は着実に持ち直し、デフレの症状も和らいでおります。原動力は外需よりも内需でありました。内高外低型の景気回復といっても良いそうです。内高外低型の景気回復は、日本経済の構造変化を移すものか否かその判断は難しいが、危うさが残るのは確かだろうと思います。弱点を克服するためにはアベノミクスを絶えず変化させなけ

ればならないそうです。

話は変わりますが、「ネット販売店舗を侵食」との題で下記の記事が新聞に出ていました。

2013年、電子書籍や本の通販を加えたネット経由の書籍販売額は2,000億円を超えました。この額は、店舗を加えた全書籍販売額の1割を上回り、2018年には3割に達する見込みとのことです。

家電製品の販売額についても、13年度内にネット経由の割合が1割を突破するようです。2012年の家電ネット通販額は7,000億円以上に上ります。ネットの販売比率が市場全体の1割を占めると、実店舗の淘汰が進む傾向がみられるとのことです。

セブン&アイ・ホールディングスは、18年度ま

でに扱う全300万の商品をネットで買えるようにするそうです。

今後もネット社会に移行するスピードが一段と加速すると見て間違いはないと思います。

ネット社会の現象をどのように経営に取り入れていくかが今後の課題になっていくと思われます。

2014年が我々業界にとって良い年になることを信じて事業経営に邁進していきたいと思えます。

本年が皆様方にとりまして、良き年になりますようご祈念申し上げご挨拶に代えさせていただきます。

《お知らせ》

本年のみ、賀詞交歓会はお休みさせていただきます。

新年ご挨拶

全日本プラスチック製品工業連合会 会長 齋藤 森作

～長年培った技能、知恵工夫、高度な技術開発、高付加価値をキーワードに邁進～



新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、官公庁、関連諸団体をはじめ正会員、賛助会員の皆様方には、格別のご高配を賜り、誠にありがとうございました。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

私ども全日本プラスチック製品工業連合会は、昨年末創立50周年を迎えることが出来ました。これもひとえに関係各位の永年に亘るご支援、ご協力の賜物であり心より感謝と御礼を申し上げます。これからもプラスチックに携わる多くの会員企業の活躍を通じて、業界並びに社会の発展のために全力で邁進していく所存でございます。何卒旧来にも増してご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

昨年を振り返りますと、富士山の世界遺産登録、2020年夏季五輪・パラリンピック東京開催の決定や長嶋茂雄元巨人軍監督、松井秀樹選手の国民栄誉賞受賞など明るい話題がありました。一方では、蔓延化するいじめや体罰暴力問題、異常気象による相次ぐ災害など痛ましい社会問題も多く発生しました。

安倍政権のもとTPPへの交渉参加、衆参両院のねじれ解消、2014年4月からの消費税率8%への引き上げが決定され、アベノミックスへの期待感から円安株高が定着化するなど、日本経済に明るさが見えはじめた年でもありました。

我々プラスチック製品製造業界においては、円安による原材料価格の高騰や電力料金の値上げ、止まらぬ生産の海外移転、受注先からのコスト

ダウン要請、海外企業との競争激化など明るさが実感できず、依然として厳しい経営環境が続きました。このため関係官庁との情報交換の緊密化や受注先に対する価格改定の要望お願いなど、積極的に連合会活動を図って参りました。

日本を含めた2014年世界経済動向の展望では、米国や欧州、新興国等で成長率の違いは出るものの改善方向といった予測になっています。国内においては為替や消費税増税後の動向など不透明感も払拭できませんが、輸出増加による生産活動の広がりや設備投資への波及等から回復軌道にのることが予測されています。一方中小企業の景況は一部には持ち直しの動きが広がるものの、仕入れ価格の上昇など依然として厳しさの残る状況が続くと予測されております。

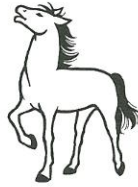
今年の干支は「甲午（きのえうま）」ですが、甲は、古い体制が次第に壊れ、次の時代を担う新しい動きが出てくる意味があり、午は旧来のしきたりや悪い習慣を打ち破って、革新的な動きが出てくることを意味するそうです。是非とも今年が新たな道筋を見出し、着実に成長する年であることを期待しています。

「モノづくり」の原点に立ち返り、長年培った技能、知恵工夫、高度な技術開発、高付加価値をキーワードに自らの信じるところに従い、ひたすらに邁進することが生き残りの道ではないでしょうか。

依然厳しい状況が続くものと存じますが、当連合会は会員企業と手を携えて、ものづくり大国日本を支える役割を少しでも多く果たせましますよう、全力を尽くしてまいります。

最後になりますが、皆様並びにご家族の一層のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

干支の話題



1. 2013年『癸巳』（「みずのと・き」、音読みで「き・し」）を振り返って

2013年は『巳』年で、干支では『癸巳』（「みずのと・み」、「き・し」）でした。

『癸巳』の『巳』は物事が終結して新たに出発する意味があり、『癸』は原理原則を立てて、順序に沿って企てを一致協力して進めていくことです。しかし、いったんこれを間違えたと一揆や騒乱を招くことになる年廻りでした。

2013年は米国ではオバマ氏が大統領の2期目をスタートさせ、中国では習近平氏が3月の全人代で国家主席に選出され、党・国家・軍の三権を正式に掌握しました。韓国では朴槿恵氏が大統領に就任し新政権をスタートさせています。11月にはジョン・F・ケネディ元大統領の長女キャロライン・ケネディさんが駐日アメリカ大使に就任しました。

うれしいニュースといえば、5月の国民栄誉賞の授賞式で長嶋茂雄氏が松井秀喜氏の投げたボールを空振りする元気な姿を見せてくれました。6月に富士山が世界文化遺産に登録となり、9月には2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定しました。11月にはプロ野球で東北楽天ゴールデンイーグルスが創立9年目で初めての日本一。東北・北三陸を舞台としたNHK連続テレビ小説「あまちゃん」とともに東北を大いに盛り上げました。加えてもう一つの大ヒットドラマ「半沢直樹」は「倍返しだ!」の決め台詞も含め社会現象となりました。

残念なニュースとしては、今年は数十年に一度という大雨が各地で降り、大きな被害をもたらしました。そして昨年来悪化している中国・韓国との関係もなかなか改善できませんでした。

2. 2014年は『甲午』（「きのえ・うま」、音読みで「こう・ご」）

2014年は『午』年で、干支では『甲午』（「きのえ・うま」「こう・ご」）に当たります。『甲午』の『甲』は十干の最初の文字です。『甲』は春になって草木の芽が冬中被っていた殻を破って出てきた姿を表した象形文字です。古い体制が次第に壊れ、次の時代を担う新しい動きが出てくるという意味があります。

さて『易経』の中に「甲に先立つこと三日。甲に遅れること三日」という言葉があります。

例えば、新しく政令を発する場合は、「その三日前に人々によく知らせ、そして布告後三日しても一度よく説明して熟知させる」という意味になります。このように「甲」には新しい生命力の新たなる創造・開発という意味があります。

次に『午』は十二支7番目です。午の上の形は地表を表し、下の十の横一は陽気で、縦一は陰気が下から突き上げて地表に出ようとする象形文字です。旧来のしきたりや悪い習慣を打ち破って、革新的な動きが出てくることを意味します。

3. 2014年の年回りは

それでは2014年の「甲午」は、どのような年になるのでしょうか。

2月にはソチオリンピックが開催されます。フィギュアスケートの国内予選は世界最難関と呼ばれ、男女ともバンクーバーオリンピックに続きメダルが期待されています。またスキージャンプの高梨沙羅さんやスピードスケートでもメダルの期待がかかっています。

4月には消費税が8%で増税されます。Windows XPのサポート期間が終了となります。東日本大震災で被災した三陸鉄道北リアス線・南リアス線全線で運行再開を予定しています。

5月末からは日本も出場を決めているFIFAワールドカップブラジル大会が開催されます。11月には米国で中間選挙が行われます。

大阪では近鉄・阿倍野橋ターミナルビルが完成し、北陸新幹線長野～金沢間の開業を年度内に予定しています。

4. 午（馬）にまつわる話

もし人間が家畜化し、保護してやらなかったならば、おそらくウマはとっくの昔に絶滅してしまっただろう。今泉古典博士の言葉です。農耕馬や荷馬、あるいは食用として人間のそばにいた馬ですが、同時に馬の速さを競わせることも古くから行われていたようです。競走馬はサラブレッドと呼ばれ、血統が良いことの代名詞で、先祖をたどれば例外なく3頭のアラブ馬にたどり着きます。競馬で勝利することのみを目的とし、日々交配と淘汰が繰り返され、人が作り出した最高の芸術品と呼ばれています。

【生態】

首と頭が長く、長い四肢を持ち角はありません。各足とも第3指を残し他の指は退化しています。よく発達した蹄をもち、硬い土の上を走ることができます。頭から首の上部にかけて鬃（たてがみ）があり、全身の毛は短いのですが、ある程度の寒冷地での生活にも耐えられます。顔の両側に目が位置し視野が350度です。草食性で、よく発達した門歯と臼歯で食べ物を噛み切り、

すりつぶします。硬くて甘味の強い食物全（日本ではニンジン）を好むとされています。寿命は約25年です。

[知能]

知能は家畜の中でかなり高く、脳の発達度を示す指標である脳化指数は犬猫に続き、少なくとも長期記憶は非常に高いことが知られています。乗り手が馬に対してオドオドすると、その気持ちを見透かされ馬鹿にされます。それだけではなく気に入らなると前足で足を払って転ばせたり、体を寄せてわざと壁に追い詰めて楽しんだりします。逆に常日頃から愛情を込めて身の回りを世話してくれる人物に対しては絶大の信頼を寄せ従順な態度をとり、生涯顔を忘れないといわれています。

5. 午（馬）に関する言葉、ことわざ、慣用句、故事成語

○ 初午

2月最初の午の日。京都・伏見稲荷神社の神が降りた日と言われ、全国で稲荷社を祭る。

○ 野次馬

ならしくい馬。自分に関係ないことを人の後について訳もなく騒ぎまわること。

○ 馬子にも衣装

身分の低いものでも、身なりを整えれば衣装次第で、一応は立派に見えること

○ 馬車馬のよう

わき目もふらず、一途に物事をするこのたとえ。

○ 天高く馬肥ゆる秋

秋は空気も澄んで、空も高く感じられ、馬も肥えるような収穫の季節である。秋の素晴らしさをいう句で、多くの手紙などで時節の挨拶として用いられる。昔中国では、北方の騎馬民族である匈奴が収穫の秋になると大挙して略奪にやってきたので、警戒の言葉として使われていた。

○ 人間万事塞翁が馬

災いがいつ福の原因になるかわからず、福がいつ災いの原因になるかわからない。人間なにが幸せでなにが不幸かわからない。いたずらに一喜一憂しても始まらないこのたとえ。

○ 瓢箪から駒（=子馬）

思いもかけないことや道理上あり得ないことが起こること。また冗談で言ったことが現実になること。

○ 馬脚を現す

隠していた本性や悪事がばれること。

○ 馬の耳に念仏

馬に念仏を聞かせてもありがたみを理解しないことから、忠告しても聞き流すだけでき

きめがないことのたとえ。

6. 午年生まれ名鑑

午年生まれの著名人にはどんな人がいるのでしょうか。年代別にあげてみました（敬称略）。

1870(明治3)年 ウラジミール・レーニン(政治家)、浜口雄幸(政治家)、西田幾太郎(哲学者)、坂田三吉(将棋)、鈴木大拙(仏教学者)

1882(明治15)年 五島慶太(実業家)、金田一京助(言語学者・民俗学者)、斎藤茂吉(歌人)、野口雨情(詩人)、青木繁(洋画家)、種田山頭火(俳人)

1894(明治27)年 植村甲午郎(経営者)、徳川夢声(講談師)、豊田喜一郎(経営者)、江戸川乱歩(推理小説家)、松下幸之助(経営者)

1906(明治39)年 杉村春子(女優)、中山素平(経営者)、朝永振一郎(物理学者)、坂口安吾(作家)、本田宗一郎(技術者・経営者)

1918(大正7)年 池部良(俳優)、田中角栄(政治家)、中曾根康弘(政治家)、福井謙一(科学者)、正力亨(経営者)、鳩山威一郎(政治家)

1930(昭和5)年 三宅久之(政治評論家)、大賀典雄(経営者)、鈴木修(経営者)、竹村健一(政治評論家)、半藤一利(作家)、平山郁夫(日本画家)、早坂茂三(政治評論家)、芦田淳(デザイナー)、ジョン・コネリー(俳優)、西村京太郎(推理小説家)、武満徹(作曲家)、開高健(作家)

1942(昭和17)年 小泉純一郎(政治家)、モハメド・アリ(ボクシング)、金正日(政治家)、山本陽子(女優)、小沢一郎(政治家)、北野大(科学者)、青木功(ゴルフ)、岩田規久男(経済学者)、胡錦濤(政治家)

1954(昭和29)年 中畑清(野球)、石田純一(俳優)、松任谷由美(シンガーソングライター)、林真理子(作家)、中村修二(電子工学者)、志位和夫(政治家)、土井隆雄(宇宙飛行士)、安倍晋三(政治家)、中島常幸(ゴルフ)、片岡鶴太郎(俳優)

1966(昭和41)年 長嶋一茂(野球)、小泉今日子(歌手・女優)、今田耕司(タレント)、野村萬斎(狂言師)、マイク・タイソン(ボクシング)、小谷実可子(シンクロ)、斉藤由貴(女優)、秋篠宮紀子(皇族)、東山紀之(俳優)、有森裕子(マラソン)、江角マキコ(女優)

1978(昭和53)年 浜口京子(レスリング)、雛形あきこ(女優)、中澤佑二(サッカー)、為末大(陸上競技)、井上康生(柔道)、釈由美子(女優)、中村俊輔(サッカー)、小泉孝太郎(俳優)、澤穂希(サッカー)、浜崎あゆみ(歌手)、武幸四郎(競馬)、**1990(平成2)年** 入江陵介(水泳)、ローラ(モデル)、三浦春馬(俳優)、酒井宏樹(サッカー)、東浜巨(野球)、浅田真央(フィギュアスケート)

最後に、2014年午年が皆様にとって明るく実りがある年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。

ITS(高度交通システム) (四季)

高度交通システム(Intelligent Transport Systems, ITS)はIT(Information Technology)を利用して交通の安全・輸送効率向上・快適性向上を図る一連のシステムの総称である。

広くは道路交通、鉄道、海運、航空など全ての交通が対象となるが、日本では道路交通を主な対象とすることが多い。

ITSは人と道路と自動車の間で情報の受発信を行い道路交通の最適化・効率化を図ると同時に、事故や渋滞の解消、環境との共存を目指す仕組みである。

関連技術は多岐に渡り、社会システムを大きく変えるプロジェクトとして、新しい産業や市場を創り出す可能性を秘めている。

我々が普段利用しているITSとしては1990年代に情報提供サービスが開始されたVICS(Vehicle Information and Communication System)がある。

カーナビの地図画面に重ねて、道路渋滞区間、事故・故障車・工事情報、速度規制、車線規制情報、駐車場・サービスエリア・パーキングエリアの満車・空車情報を表示するものである。

これらの情報はFM多重放送や、道路脇に設置された電波ビーコン等から発信されている。

さらに2011年運用開始の「ITSスポットサービス」はカーナビとETCを一体化し画像情報を含む様々なサービスを提供するものである。

道路側には高速大容量通信用の「ITSスポット」と呼ばれるマイクロ波アンテナを設置し、車には「ITSスポット対応カーナビ」を装備する必要がある。

VICSは車が走行中の県内情報が中心で、高速道路においても概ね200km程度前方までの情報提供であるがITSスポットサービスでは進行方向1,000km程度の高速度道路情報が提供されると共に、最適な渋滞回避ルートガイド、追突防止支援としてカーブや上り坂先の渋滞情報も提供され、一般道では信号見落とし防止支援、一時停止規制見落とし防止支援、出会い頭衝突防止支援、信号待ち渋滞箇所での追突防止支援などの機能も備えている。

さらに、ETC支払い機能の拡張として、駐車場料金、ガソリンスタンド、ドライブスルー、カーフェリー、等の支払いへの適用が進みつつある。また一部のサービスエリアにおいてインターネット接続機能も提供されている。

その他ITSには警察庁が中心となって推進する「新交通管理システム」があり、交通情報の収集と提供、信号制御を始め、公共車両優先通行支援、緊急車両急行支援、安全運転支援として一時停止

等の周辺交通状況をカーナビを通して視覚、聴覚情報としてドライバーに伝達するサービス等を行っている。

また「デマンドバス」もITS技術の産物である。

次世代ITSが目指すテーマは、車の自動運転を実現するオートパイロットシステムである。

最近、米国の大手情報企業が実験映像を公開し、さる11月末開催の東京モーターショー2013で国内自動車メーカーがデモ走行を披露した技術である。

既に日欧の自動車メーカーが販売している“ぶつからない車”(衝突被害軽減ブレーキ)はオートパイロットを構成する基盤技術の一つである。

国土交通省は平成23年5月産学官有識者からなる「次世代ITSに関する検討会」を設置し、平成25年10月「オートパイロットシステムの実現に向けて」の中間とりまとめを発表した。

その中で、自動運転の効果として①渋滞を削減・緩和し高効率で環境に優しい交通社会の実現、②交通事故の削減、③障害者・高齢者等の移動支援と共に運転の快適性向上を図り多様な利用者が利便性を享受できる社会の実現、④自動車関連産業のすその広さがもたらす国際競争力の強化をあげている。

自動運転の実現には車両側の技術開発は勿論、前述のITSスポットサービスの進化による道路側サービスの拡充、運転者と車両製造者ならびに支援システム製作者・システム運用機関の責任所在整理、関連法規整備、社会受容面の啓蒙が必要である。

また技術開発の一環ではあるが、車両も道路側支援サービスもコンピュータ制御であり、今後スマートホンとの連携拡大が想定されることから、コンピュータウイルス、個人情報保護、サイバーテロを含めた情報セキュリティ対策も重要となる。

自動運転実現のロードマップは、2020年代初頭頃までに、高速度道路本線における高度な運転支援システムによる連続走行、2020年代初頭以降に、合流部・渋滞多発箇所における最適走行を含む高速度道路本線および連絡路における連続走行を設定している。但し昨今の自動運転に関する技術開発がスピードアップしている現状に鑑み、検討会の実施内容や目標の前倒しを含めた見直しを継続的に実施するとしている。

ITSによりプラスチック成形が拡大する分野は、従来からの自動車関連部品、通信関連部品に加え、各種センサ部品である。自動運転には周囲の状況判断のために数多くのレンズユニットと距離および速度測定レーダを必要としている。

(案山子)

平成二十六年

謹んで新春のお慶びを申し上げます



年頭にあたり謹んで皆様のご繁栄とご健勝をお祈り申し上げます

<p>電話 03-5855-1111 東京都荒川区東尾久五丁目1-1</p> <p>代表取締役 福田晴通</p> <p>旭モールドディング株式会社</p>	<p>浅間合成株式会社</p> <p>代表取締役 嶋田修二</p> <p>〒401-0301 山梨県南都留郡富士河口湖町輪津6081-1 TEL 0555-73-2831 FAX 0555-73-2832 URL: http://www.asama-gosei.jp P-E-mail: shimach@poplar.ocn.ne.jp</p>	<p>明日の情報システムを想像する ASCOT</p> <p>株式会社 アスコット</p> <p>代表取締役 森井義雄</p> <p>本社 〒540-0021 大阪府中央区大手通1-4-10 大手町フタバビル6F TEL (06)6944-9211 FAX (06)6944-3233 東京支店 〒101-0044 東京都千代田区新富町2-9-6 徳方本社ビル6F TEL (03)5209-0123 FAX (03)5209-0121</p>
<p>AFTR 株式会社 アフター</p> <p>代表取締役社長 実方京一郎</p> <p>〒104-0061 東京都中央区銀座8-11-5 TEL03(5537)1238 FAX03(5537)1236 URL: http://www.aftr.co.jp E-mail: info@aftr.co.jp</p>	<p>電話 03-5855-1111 東京都荒川区荒川五丁目三九一二</p> <p>代表取締役 齋藤森作</p> <p>株式会社 荒川樹脂</p>	<p>プラパート</p> <p>株式会社 石黒製作所</p> <p>代表取締役社長 大野泰昭</p> <p>〒136-0074 東京都江東区東砂6-2-9 TEL 03-5665-7711 FAX 03-5665-7712 URL: http://www.pla-part.com/</p>
<p>電話 03-5855-1111 東京都中野区中央一丁目四二</p> <p>代表取締役社長 安達七郎</p> <p>石田プレス工業株式会社</p>	<p>電話 03-5855-1111 東京都江戸川区臨海町五丁目四一三</p> <p>代表取締役社長 野邊弘一郎</p> <p>エンゼル産業株式会社</p>	<p>Enplas</p> <p>株式会社 エンプラス</p> <p>代表取締役社長 横田大輔</p> <p>〒332-0034 埼玉県川口市並木2丁目30番1号 電話 048(253)3131(代) http://www.enplas.com</p>

平成二十六年

謹んで新春のお慶びを申し上げます

<p>OSK</p> <p>代表取締役社長 原田裕司</p> <p>大塚産業株式会社</p> <p>〒137-005 東京都墨田区東駒形二丁目一八番一 電話 〇三(三六二五)五六五(代) FAX 〇三(三六二五)三二六五</p>	<p>代表取締役 川島仁</p> <p>株式会社 川島工業所</p> <p>〒160-002 東京都杉並区和田一丁目一六 電話 〇三(三三八三)五四一一</p>	<p>代表取締役社長 川野幸博</p> <p>川澄化学工業株式会社</p> <p>〒135-009 東京都港区港南二丁目一五番一 電話 〇三(五七六九)二六〇〇 品川インターシティB棟9階</p>
<p>KAWATA</p> <p>先進技術とトータルシステムで貢献</p> <p>株式会社 カワタ</p> <p>取締役 営業担当 柴孝幸</p> <p>〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-7-6 茅場町スクエアビル6F TEL 03-5645-7880(代)</p>	<p>代表取締役 工藤哲夫</p> <p>株式会社 工藤プラスチック工業株式会社</p> <p>〒170-005 東京都板橋区若木三丁目一五番一 電話 〇三(三九三二)六三一</p>	<p>離型剤・防錆剤・潤滑剤・洗剤の製造販売</p> <p>KOBEGOSEI</p> <p>神戸合成株式会社</p> <p>代表取締役社長 宮岡督修</p> <p>本社：兵庫県小野市匠台10番地 TEL:(0794)64-7771 代 FAX:(0794)64-7772 URL:http://www.kobe-gosei.co.jp</p> <p>BIG FORCE</p>
<p>駒沢化成株式会社</p> <p>代表取締役社長 河野八朗</p> <p>本社 〒252-0226 神奈川県相模原市中央区陽光台4-6-4 電話 042-758-9611 FAX 042-758-1691 URL:/www.komazawa.co.jp/ E-mail:honsya@komazawa.co.jp</p>	<p>代表取締役社長 伊東義也</p> <p>株式会社 小松川プラスチック</p> <p>〒132-033 東京都江戸川区松江五丁目二一九 電話 〇三(三六八〇)七四七一(代) FAX 〇三(三六八七)六二一一</p>	<p>会長 小松幹也</p> <p>埼玉県プラスチック振興会</p> <p>〒330-084 埼玉県川口市上青木三丁目二十八 電話 〇四八(二六二)七一五一 FAX 〇四八(二六二)七一五一</p>
<p>SG</p> <p>株式会社 サトーゴーセー</p> <p>代表取締役社長 佐藤昭</p> <p>本社 〒174-0074 東京都板橋区東新町1-17-1 Tel:03-3955-4066 Fax:03-3955-2081 東松山 〒355-0071 埼玉県東松山市大字新郷70-1 鶴岡 〒997-0011 山形県鶴岡市宝田1-10-51</p>	<p>代表取締役社長 平塚隆文</p> <p>株式会社 三光社</p> <p>本社 〒110-002 東京都台東区柳橋二丁目九番一 電話 〇三(三六八三)三五四八(代) FAX 〇三(三六八三)三五七九</p>	<p>代表取締役社長 高嶋光雄</p> <p>三省物産株式会社</p> <p>〒100-833 東京都中央区日本橋室町四丁目一八 電話 〇三(三二七〇)五七二一 (東京建物室町ビル)</p>

平成二十六年
謹んで新春のお慶びを申し上げます

<p>ISO 9001登録企業 押出成形</p> <p>SKK 白石工業株式会社</p> <p>代表取締役会長 白石 恵一 代表取締役社長 白石 創士</p> <p>〒130-0011 東京都江東区亀戸5-44-8 電話 (03) 3683-3301 (代) FAX (03) 3683-3305 http://www.shiraishi-kk.co.jp</p>	<p>Sshoujoh 株式会社 狸々テクノ</p> <p>取締役社長 大塚 眞</p> <p>〒123-0872 東京都足立区江北6-7-7 電話 (03) 3856-0505 FAX (03) 3856-2777</p>	<p>Shinjo 株式会社 新上</p> <p>取締役会長 曾我部 大上 代表取締役 曾我部 大上</p> <p>〒270-0113 千葉県市川市正連寺9-1-10 電話 (04) (七二二三) 〇四七一九〇</p>
<p>STAR</p> <p>関東支店 支店長 三浦 基</p> <p>株式会社スター精機</p> <p>関東支店 〒327-0003 栃木県佐野市大橋町3241 電話 0283-24-8211 FAX 0283-24-5687</p>	<p>セーチョー工業株式会社</p> <p>代表取締役 生倉 茂</p> <p>〒227-0004 神奈川県横浜市緑区橋本6-15-10 電話 〇四二 (七七四) 八九一一 FAX 〇四二 (七七四) 八九一一</p>	<p>TAKAPURA S-C J CO. LTD. 株式会社 タカプラーS・C・J</p> <p>代表取締役 高橋 昇</p> <p>〒100-0001 東京都港区芝田区太平四十一-1-7 電話 (03) (三六二二) 四六九六 FAX (03) (三六二二) 四六九二</p>
<p>代表取締役 奥山 英明</p> <p>拓水工業株式会社</p> <p>〒130-0083 東京都江戸川区中葛西7-26-19 電話 〇三 (三六七五) 二七三一</p>	<p>CHIBA 業務用調理機器</p> <p>株式会社 千葉工業所</p> <p>代表取締役 長島 勝敏</p> <p>〒273-0048 千葉県船橋市丸山4-53-14 TEL 047-438-3411 FAX 047-438-3413 e-mail: peels@chiba-ind.co.jp URL: http://www.chiba-ind.co.jp</p>	<p>TECHNO テクノ精工株式会社</p> <p>代表取締役社長 野本 義三</p> <p>〒270-0113 千葉県流山市駒木495-5 TEL 04(7155)6055 FAX 04(7155)6662 http://www.technoiseiko.com/ E-mail: info@technoiseiko.com</p>
<p>TOSHIBA</p> <p>東芝機械株式会社</p> <p>代表取締役社長 飯村 幸生</p> <p>〒100-8503 東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル4F TEL: 03-3509-0300 FAX: 03-3509-0331</p>	<p>長野県プラスチック工業会 会長 小野 勝彦</p> <p>〒273-0048 千葉県船橋市丸山4-53-14 電話 〇〇二六 (二二二六) 六一五〇 FAX 〇〇二六 (二二二六) 六一五一</p>	<p>日鋼YPK商事株式会社</p> <p>代表取締役社長 早川 保</p> <p>〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番1号 ゲートシティ大崎ウエストタワー 24階 電話 03 (5745) 2131 FAX 03 (5745) 2160 支店: 中部・関西 営業所: 宝蘭・仙台・長野・富山・岸和田・江坂・廣島・福岡 URL http://www.jsw-nks.co.jp/</p>








平成二十六年

謹んで新春のお慶びを申し上げます

 <p>株式会社 日新化成</p> <p>代表取締役社長 小松 幹也</p> <p>〒331-0046 埼玉県さいたま市西区宮前町821番地 TEL 048-624-8450</p>	<p>役に立つ会社</p>  <p>日本プラスチック工業株式会社 NIPPLA</p> <p>代表取締役社長 浅見 好邦</p> <p>本社 東京都荒川区荒川4丁目53番2号 〒116-0002 電話 03(3807)8651番(代表) FAX 03(3807)8653番 携帯 090(3404)8213番 FAX 03(3807)8664番(直通)</p> <p>さいたま工場 埼玉県さいたま市見沼区宮ヶ谷塔3丁目349番地 〒337-0011 電話 048(683)7281番(代表) FAX 048(683)7282番 http://www.nippla-web.co.jp E-mail:info@nippla-web.co.jp</p>	
<p>電話 千 野 200 話 〇五三(四八四)一一二七一</p> <p>取 締 役 社 長</p> <p>森川 厚孝</p> <p>日本ビニロン株式会社</p>	<p>独立技術のコンサルテーション</p>  <p>株式会社 日本油機</p> <p>代表取締役 市川 博章</p> <p>本社事業所 〒252-0203 神奈川県相模原市中央区東淵野辺4-2-2 Tel (042) 757-6681(代) Fax (042) 757-6683</p>	 <p>信川化学工業株式会社</p> <p>取締役社長 信川 仁道</p> <p>本社 〒124-0022 東京都葛飾区奥戸2-20-18 電話 03(3697)6246</p> <p>石岡工場 〒315-0002 茨城県石岡市柏原18-1 電話 0299(23)7181(代)</p>
<p>電話 千 野 506 話 〇二六五(七二二)〇一一一一</p> <p>HARMO</p> <p>代表取締役社長 濱 秀明</p> <p>株式会社 ハーモ</p>	<p>代表取締役</p> <p>池下 龍一郎</p> <p>不プラスチック株式会社</p> <p>電話 千 野 006 話 〇二九九(七九九)二三二四</p> <p>茨城県稲敷市幸田六七七</p>	<p>超精密射出成形品</p>  <p>プラスセイコー株式会社</p> <p>代表取締役社長 尾田 威彦</p> <p>〒242-0012 神奈川県大和市深見東2-1-12 TEL(046)264-0115(代表) FAX(046)263-4443</p> <p>タイ工場 140/15 Moo 7, Phaholyothin Rd., Onieng Rak-No1, Bang Pe-in, Ayutthaya 13180 Tel.:66 35218090 Fax.:66 35218093</p>
<p>電話 千 野 003 話 〇三(三七九〇)一〇三一</p> <p>代表取締役</p> <p>内藤 雅文</p> <p>平和工業株式会社</p>	<p>代表取締役</p> <p>鈴木 木雅之</p> <p>株式会社 ホーライ</p> <p>電話 千 野 0021 話 〇六(六七八二)一一二八一</p> <p>大阪府高井田大通り二二二一十</p>	 <p>MATSUI In search of support</p> <p>株式会社 松井製作所</p> <p>代表取締役社長 松井 宏信</p> <p>〒141-0032 東京都品川区大崎1-6-4 新大崎美ビル9階 tel:03-5436-3521 fax:03-3495-5331 http://www.matsui-mfg.co.jp/</p>

平成二十六年

謹んで新春のお慶びを申し上げます

 <p>代表取締役会長 丸工化学株式会社</p> <p>代表取締役社長 南 藤 郁 雄</p> <p>代表取締役社長 南 藤 郁 雄</p> <p>〒140-0003 東京都葛飾区東立石一丁目七番二八 FAX 電話 〇三(三三六九六)三九〇五(代) 〇三(三三六九六)三九七〇</p>	 <p>代表取締役社長 睦化工株式会社</p> <p>古川 亮 一</p> <p>〒140-0003 東京都大田区矢口三丁目七番一十三 FAX 電話 〇三(三七五八)二六四一(代) 〇三(三七五八)〇六三三 http://mitsumihako.co.jp</p>	 <p>代表取締役社長 山下 慎一郎</p> <p>〒140-0004 東京都品川区南品川3-6-33 TEL (03) 3740-2401 URL: http://www.yamashita-denki.co.jp</p>
 <p>増田 英輔 代表取締役社長</p> <p>山宗株式会社 関東事業部</p> <p>〒101-0047 東京都千代田区内神田2-15-2 内神田DNKビル6F TEL.03-5297-7987 FAX.03-5297-7979 http://www.yamaso.co.jp/</p>	 <p>株式会社ユーシン精機</p> <p>代表取締役社長 小谷 真由美</p> <p>■本社 〒612-8492 京都市伏見区久我本町11-260 電話 075(933)9555 FAX 075(934)4033 □東京統括営業所 電話 03(3245)0800 FAX 03(3245)0808 □北関東統括営業所 電話 048(665)2921 FAX 048(655)2927</p>	 <p>株式会社リーデンス</p> <p>代表取締役社長 肥後 武展</p> <p>本社 埼玉県入間郡三芳町大字北永井722 〒354-0044 電話 049 (259) 1161(代)</p>
<p>(一社) 東日本プラスチック製品工業協会 共済事業委員会</p> <p>～会員企業のお役に立つ事業を推進しています～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各種ユニフォーム・事務服、安全靴、タオル等幹旋 ○ ETCカード事業、廃プラ事業 ○ 団体医療共済保険、PL保険、団体生命保険 ○ プラスチック手帳他 <p>上記事業を東日本プラスチック製品工業協同組合と連携して実施</p> <p>事務局 高橋 (電話 03-3541-4321)</p>		 <p>東プラ健保に加入して 福利厚生の充実を!</p> <p>代表取締役社長 植 時 田 秀 一 明</p> <p>〒140-0004 東京都葛飾区柳橋一丁目一十四 電話 〇三(三三六六)二〇五一(代)</p>
<p>おかげ様で50周年 全日本プラスチック製品工業連合会</p> <p>会長 齋 藤 森 作 副会長 大 野 泰 昭 副会長 加 藤 豊 副会長 後 藤 一 郎 副会長 林 田 光 治 専務理事 高 橋 廣</p> <p>〒104-0045 東京都中央区築地3-12-5 (築地小山ビル1F) 電話 03-3541-4321 Fax 03-3541-4324 URL http://www.jppf.gr.jp</p>		

謹 賀 新 年

本年4月に厚生年金基金制度の抜本的な改正法が施行される予定ですが、業界の皆様独自の年金制度継続を図るため、現在、新制度への移行準備を進めております。

本年も、皆様のご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

東日本プラスチック工業厚生年金基金

理 事 長 宮 越 健

常務理事 栗 城 靖

〒111-0052 東京都台東区柳橋2丁目21番地8号
(東日本プラスチック工業厚生年金基金会館)

電話 03(3862)4308(代)

基金ホームページ

<http://www1a.biglobe.ne.jp/eplastic-kikin/>

明けまして おめでとうございます

東日本プラスチック製品工業協同組合

～会員企業のお役に立つ事業を推進して参りました

これからも下記事業に積極的に取組んで参ります～

- 各種ユニフォーム・事務服、安全靴、タオル等斡旋
- ETCカード事業
- 団体医療共済保険、PL保険、団体生命保険
- 廃プラ事業
- プラスチック手帳他

上記事業を一般社団法人 東日本プラスチック製品工業協会と連携して実施しています。

ご用命は下記へ。

東日本プラスチック製品工業協同組合 事務局
電話 03-3541-4321 Fax 03-3541-4324